

■2016年度(平成28年度)びんご圏域ビジョン連携事業 効果検証一覧

「目標達成状況」の項目種別
 「☆」備後圏域の発展に非常に効果があった
 「◎」備後圏域の発展に相当程度効果があった
 「○」備後圏域の発展に効果があった
 「×」備後圏域の発展に効果がなかった

「今後の方針」の項目種別
 ・更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
 ・事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
 ・事業内容の見直し(改善)を行う

資料 2

連携協約・圏域ビジョン			主な取組項目と実施内容	ビジョン計上予算額(千円)	決算見込額(千円)	重要業績評価指標 (KPI)				目標達成状況	びんご圏域活性化戦略会議 研究部会員の意見等	今後の方針
分野	施策名	事業名・事業概要				指標	基準値	実績値	目標値			
圏域全体の経済成長のけん引	(1) 圏域全体の産業振興の仕組みづくり	ア 成長戦略のフォローアップ	○備後圏域連携協議会の開催(4回) ○びんご圏域活性化戦略会議の開催(3回) (再掲) 備後圏域紹介コンテンツ(紹介誌及びWebサイト)の作成	5,152	2,237	—	—	—	—	○	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する	
		イ 備後圏域産業連関表の作成・活用	○備後圏域産業連関表を活用した施策検証に向けた勉強会の実施(2/27) ○備後圏域産業連関表や経済波及効果算出システムのHP掲載	1,000	999	粗付加価値額	9,575 億円 (2013)	10,473 億円 (2014)	10,500 億円以上 (2019)	○	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する	
		ウ 産業支援拠点機能の充実	○産業支援拠点「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」の設置、運営・専門家によるビジネスコンサルを通じ、売上向上・創業支援に重点をおいた経営相談を行い、圏域事業者の経営力強化に取り組んだ。 ○ものづくり大学の実施 ○最先端(IoTなどの先端技術)、学びなおし、啓発・PRという3本柱で人材育成に取り組んだ。 ○産業支援に係るWebサイトの作成(びんご産業支援サイトの運用開始) ○ワンストップ相談窓口(支援拠点)として「みはら創業応援隊」を設置《三原市》	71,837	58,830	粗付加価値額	9,575 億円 (2013)	10,473 億円 (2014)	10,500 億円以上 (2019)	◎	○Fuku-Bizの予約待ち状況の改善が課題である。Fuku-Bizのノウハウを金融機関と共有いただければ、予約待ちの解消につながると考えます。金融機関職員のFuku-Bizへの受け入れを検討できないか。 ○びんご産業支援サイトの運用として、金融機関主催の産業支援に関するセミナー案内を掲載することはできないか。 ○Fuku-Biz、ものづくり大学、起業化促進支援拠点運営事業について、事業者支援の一層の充実を図るべく、地域金融機関、支援機関との連携が一層重要になると考えている。各機関における具体的な連携施策及び連携支援機関に期待する具体的な取組について教授願いたい。また、相談後の後追いの仕組みを作り、金融機関と情報共有していく必要があるのではないか。 ○Fuku-Bizについて、相当程度効果があったと認識している。今後も圏域で広く活用できるよう人員増強による相談体制の強化や更なる認知度アップのため周知活動の強化などの施策を打つべきである。	
(2) 中小企業事業者等への支援	ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進	○びんご産学官人材育成等ネットワーク会議の開催 ○びんご産業支援コーディネーターの派遣(111回【福山市94 三原市5 尾道市6 府中市1 神石高原町5】)	3,251	1,905	粗付加価値額	9,575 億円 (2013)	10,473 億円 (2014)	10,500 億円以上 (2019)	○	○びんご産業支援コーディネーター派遣事業の福山市以外の活用が少ないことについて、周知を行いたいチラシ等あれば、金融機関のロビーやATMコーナーに置くことの協力は可能である(本件に限らず協力可能) ○びんご産業支援コーディネーター事業について、周知のために地域金融機関や行政機関等の窓口にチラシを設置したり、連携機関に対し利用方法等の勉強会を行ってみたい。	事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	
		イ 女性の創業支援	○e. 街いきいきフォーラムの開催《府中市》(12/4 府中市文化センター 参加者 約400人) ○女性のための交流イベント「TREEひろがるつながる女性の輪」の開催(7/9 参加者88人)(11/16 参加者100人)	777	1,283	女性の労働参加率(30~34歳)	67.5 % (2010)	69.5 % (2015)	67.5 %以上 (2019)	○	○女性の創業支援については、各取り組みの周知方法を適宜見直しながら実施していく必要がある。また各メディアに対する発信力を高めていくことが重要であると考え。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		ウ 地域の産業集積による競争力向上	○ビジネス交流フェア(2/14 福山商工会議所主催) ○備後圏域のデニム産地PR・デニム事業者との連携体制の構築(検討会の開催) ・デニム産地として国内外への情報発信を強化(デニム関連企業と連携したPR動画の作成) ・首都圏等でのPR(デニムマップ等の活用、BINGOフェスティバル(東京版)など) ○地場産業振興センター人材育成事業《井原市》 ・織物設計・分解研修会(10回)	10,535	7,590	粗付加価値額	9,575 億円 (2013)	10,473 億円 (2014)	10,500 億円以上 (2019)	◎	○デニムプロジェクトにおいて、全国周知やブランディングについて金融機関と連携し、ブランディング専門家とのマッチングや、圏域を超えた連携(倉敷市)、「せとうちDMO」の活用等による情報の世界発信等、デニムを認知してもらえる取組を検討頂きたい。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
(3) 第一次産業の活性化	ア 6次産業化の推進	○U・Iターン就職・総合相談会の実施(8/10 参加企業数107社【福山市94 府中市10 井原市2 笠岡市1】) ○就職ガイダンス(PART1)124社524人、(PART2)128社391人 ○企業と学校の交流会(参加企業)61社76人、(参加学校)47校50人 ○高校生の事業所見学補助(参加学校)2校108人、(見学企業)3社 ○女性の再就職イベント(9/28 セミナー参加者14人、個別相談会参加者5人【福山市、三原市、尾道市など】) ○フリーター・ニートの保護者(家族)向け就職支援セミナー・個別相談会(尾道11/26 府中12/3 福山12/15) ○若手社員と学生の交流会(2/2 参加者29人、参加企業5社(16人)) ○首都圏の大学生と備後圏域企業の交流会(参加者10人) ○(再掲)関西圏の大学生と備後圏域企業の交流会(参加者36人) ○障がい者の雇用対策(福祉的就労) ○都市圏からの人材呼び戻し事業《三原市》	19,683	19,643	製造業従業者数	80,535 人 (2013)	81,892 人 (2014)	81,900 人以上 (2019)	○	○障がい者の雇用対策については、障がい者雇用率が全国的にもトップクラスの(株)エフビコがあるので、連携するのはどうか。	事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	
		イ 第一次産業振興のための環境整備	○販路開拓推進業務等 ・首都圏におけるびんご産品販路開拓 備後圏域マーケティング強化セミナー(8/24 参加者58名)、個別相談会(第1回:10/18、第2回:3/13)商談会(1/11福山市)、びんごフェア(2/8~2/14東京都) ・備後圏域6次産業化推進・設備整備等事業(4件申請、4件採択) ・びんご6次産業化アドバイザー派遣(12件【福山市5 三原市1 尾道市2 世羅町1 神石高原町1 井原市2】) ○備後圏域ワインプロジェクトの実施 ・特区説明会及びワインアカデミーの開催(1/24井原市 参加者18人)(2/28福山市 参加者25人) ・特区説明会(10/28神石高原町 参加者27人、12/14井原市 参加者27人) ・ワインPR(各種イベントでのPR【BINGOフェスティバルへの出店等】) ・(再掲)ワイン列車(3/18井原鉄道で実施【参加者43人】)	8,422	7,127	農林水産業の就業者数	16,246 人 (2010)	15,961 人 (2015)	15,200 人以上 (2019)	◎	○6次産業化の推進に当たっては、地域の特産品をブランド化するうえで、更に多くの取扱品目を選定する必要がある。	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
		イ 第一次産業振興のための環境整備	○地魚のブランド化 ・地魚ブランド「備後フィッシュ(25種)」, ロゴマーク・キャッチコピーの公表 ・推進母体「備後の地魚応援団」の設立(構成団体)市町、道の駅、漁業協同組合など ・PR活動の実施(備後フィッシュ料理教室の開催(10回)、既存イベントへのブース出店(4回)、備後フィッシュフェスの開催(11/12))	7,623	6,574	農林水産業の就業者数	16,246 人 (2010)	15,961 人 (2015)	15,200 人以上 (2019)	◎	○農業者の高齢化による担い手不足や農産物価格の低迷、鳥獣被害の拡大による農業生産意欲の低下及び耕作放棄地の増加が課題である。 ○備後フィッシュの認知度が低いのではないか。ブランド化の推進による効果的・広域的な展開を行うこと。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
(4) 戦略的な観光振興	ア 戦略的な観光振興	○広域観光ルートの設定 ○備後圏域観光パンフレット・マップの作成※多言語版含む ○地域資源の情報発信 ・ふくやま港まつり2016開催、クルーズ客船寄港歓迎行事の実施、「備後府中食博28」の開催	14,650	13,597	総観光客数	20,920 千人 (2014)	23,268 千人 (2015)	24,000 千人 (2019)	○	○戦略的な観光振興を行うために、備後圏域を管轄する地域DMOを設立し永続的な取組に発展するよう検討してはどうか。 ○KPIを達成する為にはマップを活用した取り組みを更に強化する必要がある。ターゲット層(国内外共に)を明確にした上で、効果的なプロモーションを実施する事による認知度向上や圏域に來られた際に活用できる「観光商品」を造成することが必要と思われる。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う	

■2016年度(平成28年度)びんご圏域ビジョン連携事業 効果検証一覧

「目標達成状況」の項目種別
 「☆」備後圏域の発展に非常に効果があった
 「◎」備後圏域の発展に相当程度効果があった
 「○」備後圏域の発展に効果があった
 「×」備後圏域の発展に効果がなかった

「今後の方針」の項目種別
 ・更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
 ・事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
 ・事業内容の見直し(改善)を行う

資料 2

連携協約・圏域ビジョン			主な取組項目と実施内容	ビジョン計上予算額(千円)	決算見込額(千円)	重要業績評価指標(KPI)				目標達成状況	びんご圏域活性化戦略会議 研究部会員の意見等	今後の方針
分野	施策名	事業名・事業概要				指標	基準値	実績値	目標値			
2 高次の都市機能の集積・強化	(1) 高度医療の充実や誇り	ア 高度な医療サービスの提供	○医療連携準備会議の開催 ○看護職員再就職支援セミナー(1/25 参加者18人) ○看護師養成のための補助 ○高度医療機器の整備 ○こども発達支援センターの施設管理等	277,539	265,032	看護師等の圏域内就職率	56.1 % (2014)	59.0 % (2015)	60.0 % (2019)	○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
	(2) 広域的な都市基盤の整備	ア 広域的な都市基盤の整備	○立地適正化計画等連絡調整会議の開催 ○公共施設の広域的な管理・運用等に関する関係課長会議の開催 ○都市機能の集積・強化	405,472	351,148	市街地等居住率	69.7 % (2016)	- %	69.85 % (2019)	○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
	(3) 高等教育機能の充実や強化	ア 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実	○6大学等エクステンション連携会議の開催 〔参加大学〕尾道市立大学、県立広島大学、福山大学、福山平成大学、福山職業能力開発短期大学校、福山市立大学 ・特別企画「6大学エクステンション連携講座」(びんご圏域6大学の2015年度人気講座紹介)の開催(5/21) ・6大学連携講座の開催(チラシ・ポスターによる情報発信 vol.1 6-8月講座, vol.2 9-12月講座) ○グローバル人材育成事業実施協議会による「びんご圏域連携グローバル人材育成事業」の実施 〔参加大学〕尾道市立大学、福山大学、福山平成大学、福山市立大学 ・講義(全8回 受講生48人)、海外研修(12/10~12/17(タイ)19人派遣)	5,060	4,848	大卒者の圏域内就職率	35.7 % (2014)	36.4 % (2015)	40.0 % (2019)	◎	○グローバル人材育成事業における受講者減少の要因及び社会人参加者の確保しにくい要因を調査し、調査結果に基づいた対策が必要である。	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
				688,071	621,028							

■2016年度(平成28年度)びんご圏域ビジョン連携事業 効果検証一覧

「目標達成状況」の項目種別 「☆」備後圏域の発展に非常に効果があった 「◎」備後圏域の発展に相当程度効果があった	「今後の方針」の項目種別 「○」備後圏域の発展に効果があった 「×」備後圏域の発展に効果がなかった	「今後の方針」の項目種別 ・更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う ・事業が効果的だったため、既存の内容で継続する ・事業内容の見直し(改善)を行う	資料 2
--	---	--	------

連携協約・圏域ビジョン			主な取組項目と実施内容	ビジョン計上予算額(千円)	決算見込額(千円)	重要業績評価指標 (KPI)				目標達成状況	びんご圏域活性化戦略会議 研究部会員の意見等	今後の方針	
分野	施策名	事業名・事業概要				指標	基準値	実績値	目標値				2017年度実施の中間調査で取得
3 圏域全体の生活関連連携サービスの向上	(1)	医療や福祉サービスの充実	○夜間成人診療所の運営 ○圏域内公立病院等の担当部署と連携し、それぞれの医療スタッフの知識や技術の標準化及び向上を図るための合同研修を実施 ・「感染症管理研修会」「感染管理勉強会」「看護連携をすすめる会」「災害対策マニュアル及び事業継続計画(BCP)の作成」「広島県東部がん看護研修会」「びんご圏がん化学療法ネットワーク共同研修会」の開催 ○診療材料等共同購入検討会議の開催 ○福山市民病院からの診療支援の実施 [支援先]尾道市立市民病院(内科1人)、府中市民病院(循環器内科1人)、神石高原町立病院(内科1人、外科1人)、井原市民病院(循環器内科1人)	89,279	85,857	圏域住民アンケート調査「医療施設や医療に係る公的支援が充実している」DI値	△4.9ポイント	2017年度実施の中間調査で取得	2017年度実施の中間調査で取得	±0ポイント以上	○	○地域包括ケアシステムの構築において、2017年度の主な実施内容に金融機関との連携推進とあるが、具体的にどのような連携を考えているのか。 ○地域包括ケアシステムの構築にあたり、金融機関との協定を締結されているが、具体的な取り組みイメージはあるか。 ○地域包括支援センターに対して、行政側からニーズ確認等の働きかけが必要ではないか。	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
		高齢者や障がい者等の福祉の充実	○介護事業等の適正運営とサービスの質の向上 ・有料老人ホーム等集団指導(3/23) ・感染症予防研修(9/30 広島県民文化センターふくやま 参加事業者数421 [市内357 市外64]) ○福山市が行う監査への同行支援(2市2町 8回実施) ○地域包括ケアシステムの構築 ・広島銀行、中国銀行との地域包括ケアシステム構築に係る協定の締結(4/1) ・地域包括ケアシステムの普及啓発(チャレンジフォーラム 2/11 広島県民文化センターふくやま 参加者440人) ・地域包括ケアシステムの構築に係るポスターを作成(金融機関各支店で掲出) ・備後圏域地域包括ケア資源マップ運用・保守(情報更新・追加)	7,490	5,326	介護を必要としている高齢者の割合	20.6%	20.8%	22.8%		○	○(再掲)東京オリンピック・パラリンピックに向けて諸外国に合わせた障がい者スポーツの取組が必要となる。障がい者スポーツから高齢者や障がい者の福祉を充実する取組や健康づくりを考える必要がある。	事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
		子育て支援の充実	○子育て応援センター「ことばの相談室」における障がい児保育・特別支援教育の研修(6/1 参加者数175人, 8/9 参加者数212人, 10/27 参加者数151人) ○備後圏域発達支援研究会の開催 [参加大学] 県立広島大学, 福山大学, 福山市民大学 ・発達障がい及びその支援に係る講演(ワークショップ)の実施(10/29, 10/30)や調査活動内容の検討 ○子ども発達支援センター開設4周年記念講演会(12/10 福山すこやかセンター 参加者 約100人) ○相談や診察, 訓練などの医療的支援の実施(センター利用延件数 3,887件)	12,741	10,708	合計特殊出生率	1.59	-	1.70		○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		健康づくりの推進	○健康ワーキングの開催 ・「産前・産後のケア体制の整備」をテーマとするワーキング ・「ボランティアの共同育成と広域的な活動の促進」をテーマとするワーキング【食生活・運動】 ○ボランティアの共同育成と広域的な活動の研究 ・他市町担当職員の福山市養成講座等の見学 食生活改善推進員養成講座(井原市9/23) 研修会(井原市11/21) 運動普及推進員養成講座(井原市1/18), 研修会(井原市9/26)	2,199	1,499	運動普及推進員, 食生活改善推進員総数	2,920人	2,902人	3,420人		○	○東京オリンピック・パラリンピックに向けて諸外国に合わせた障がい者スポーツの取組が必要となる。障がい者スポーツから高齢者や障がい者の福祉を充実する取組や健康づくりを考える必要がある。 ○運動を普及するボランティアの養成は重要である。特に若い人を新規に育成する仕組みや組織作りを検討し、大学を中心とした学校と連携をすることが必要となる。 ○東京オリンピック・パラリンピックに向けて、各地域がスポーツを通じて地域活性化につながる動きが見られている。福山でもメキシコ選手団の誘致や新体育館の建設、トライアスロン大会の開催などスポーツツーリズムの動きが見られる。こうしたオリンピックムーブメントを備後圏域で共有し、健康づくりにつながるびんご版レガシーを構築することは重要である。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		広域化による住民サービスの向上	○防災士養成講座を兼ねた福山防災大学を開講(第1回 9/4, 第2回 10/30, 第3回 11/20) ・全講座受講者87人→防災士試験合格者86人[福山市63 三原市10 尾道市6 府中市3 世羅町3 神石高原町2] ○災害時の備蓄物資の状況を共有	16,258	18,976	防災士資格取得者数	86名	-名	360名		◎		事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
		環境に配慮した循環型社会の構築	○ベスト運動の会員増に向けた圏域の市町連携によるPR強化(イベントでの周知等) ・各市町所在の企業情報の取得について連携し、企業への啓発・協賛依頼を実施(協力及び協賛企業数91社) ○有識者によるエネルギーと資源の有効活用に関する研究	6,904	5,201	ベスト運動会員数	19,700人	20,500人	21,300人		○		事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
		行政サービスの向上	○情報システム部会の開催 ・福山市が運用している子育て支援サイト・子育て支援アプリの広域での活用について協議(周知・広報を含む) ・自治体クラウドの導入について検討するため、各市町のシステムの更新状況について調査, 意見交換を行った。 ○各市町の広報紙等を活用した備後圏域の情報発信 ○備後圏域広報担当者会議及び備後圏域広報課長会議の開催 ・広報媒体を活用した連携の検討 ○備後圏域消費者行政の連携に向けた担当者会議 ・各市町の課題共有, 連携事業の構築等	43,541	43,393	圏域住民アンケート調査「行政サービスの連携」DI値	△22.5ポイント	2017年度実施の中間調査で取得	2017年度実施の中間調査で取得	±0ポイント以上	○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う

■2016年度(平成28年度)びんご圏域ビジョン連携事業 効果検証一覧

「目標達成状況」の項目種別 「☆」備後圏域の発展に非常に効果があった 「◎」備後圏域の発展に相当程度効果があった	「○」備後圏域の発展に効果があった 「×」備後圏域の発展に効果がなかった	「今後の方針」の項目種別 ・更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う ・事業が効果的だったため、既存の内容で継続する	・事業内容の見直し(改善)を行う
--	---	--	------------------

資料 2

連携協約・圏域ビジョン			主な取組項目と実施内容	ビジョン計上予算額(千円)	決算見込額(千円)	重要業績評価指標 (KPI)				目標達成状況	びんご圏域活性化戦略会議 研究部会員の意見等	今後の方針
分野	施策名	事業名・事業概要				指標	基準値	実績値	目標値			
(3)	地域活性化の推進	ア 農林水産物を活用した地域活性化	○道の駅等のネットワーク化 ・スタンプラリー「道の駅びんぐるドライブ」(10月1日～12月11日) ・特産品販路拡大(調査[7～8月]、新商品開発[9月～3月]、ルートマップ作成[1/10]、見本市出店[2/3、2/4(広島市)]) ・「海の市」・「山の市」開拓業務(11/27「山の市」、2/12「海の市」) ○BINGOフェスティバル ・福山市開催(7/2・3):福山市市制施行100周年記念イベントと連携して実施 ・東京開催(12/23):福山市東京事務所と連携して実施 ※びんご定住フェアと同時開催 ○漁業体験ツアー(モニターツアー) ・モニターツアーの実施 (福山市内海町)9/24、10/15、10/19、3/29 ※福山駅発着 (福山市鞆町)3/15～3/16 ※大阪駅発着、3/25 ※広島駅発着 ○尾道スイーツコンテストの開催(2/19、圏域内の菓子類等の製造・販売事業者対象)《尾道市》 ○水産まつりの開催(11/19、11/20)《尾道市》 ○「ばら」を使ったフレグランス等の商品開発・販売	37,986	34,412	圏域住民アンケート調査「自慢できる特産品がある」DI値	% 6.3ポイント	2017年度実施の中間調査で取得	% 10.0ポイント以上	○	○道の駅、漁業体験ツアー等の様々なコンテンツ造成しているが、併せて宿泊所の整備事業を行うことにより、滞在型観光客誘致(インバウンド等)できるように検討してはどうか。	更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		イ 公共交通体系とデマンド交通の検討	○福山市と笠岡市が連携して地域公共交通網形成計画を策定 ・住民及び利用者アンケート、交通事業者アンケート・ヒアリング、バス乗降調査 ・パブリックコメントの募集(2/18～3/19) ○福塩線対策協議会総会を開催(6/2)し、寄り道マップ作成(12/16～駅舎設置)など利用促進事業等を実施 ○井原線振興対策協議会総会を開催(5/20)し、井原線感謝デー(1/8)など利用促進事業等を実施	10,129	10,129	圏域住民アンケート調査「公共交通機関が充実している」DI値	% △35.7ポイント	2017年度中間調査で取得	% ±0ポイント以上	○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		ウ 大学を活用した地域活性化	(再掲)6大学等エクステンション連携会議の開催 (再掲)特別企画「6大学エクステンション連携講座」の開催(5/21)びんご圏域6大学の2015年度人気講座紹介 (再掲)6大学連携講座の開催(チラシ・ポスターによる情報発信 vol.1 6-8月講座, vol.2 9-12月講座) ○大学と連携して、観光アプリケーションや就職支援サイトの構築等を実施。 ・製作を通じて、学生の様々な知識向上、地元密着等を図る。	24,974	20,455	圏域住民アンケート調査「大学・研究機関が地域の発展などに貢献している」DI値	% △39.1ポイント	2017年度中間調査で取得	% ±0ポイント以上	○		事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
(4)	定住促進	ア 備後圏域定住促進事業	○びんご定住フェア(12/23、東京 ※BINGOフェスティバルと同時開催) ○移住お試しツアー(3/4・5 参加者20人)訪問先:福山市・笠岡市・井原市 ○備後圏域の就職関連情報等提供「ばらのまち福山 学生登録」の推進(登録者204人、チラシ配布数4,500枚) ○空き家対策(民間との連携) ○地域おこし協力隊の合同研修会 ○学生寮誠之舎生へのUターン促進(備後圏域の企業ガイド等配布) ○備後圏域紹介コンテンツ(紹介誌及びWebサイト)の作成 ○関西圏の大学生と備後圏域企業の交流会(参加者36人) ○ワイン列車(3/18井原鉄道で実施 参加者43人)	86,426	47,380	人口社会動態	△1,574人	△2,340人	±0人	○		更に効果的な事業に発展させるため、取組の追加等を行う
		ア 人材の育成と人材ネットワークの構築	○備後圏域市町職員人材育成連絡会議 ○管理者研修の開催(1/27) ○自治体職員の資質向上 ○生涯学習担当部署担当者会議 ・圏域全体の生涯学習活動の活性化に向けた情報共有 ・人材ネットワークを活用した講師派遣システムの検討 ○「びんご人材ネットワーク」事務手続きマニュアルの作成、各市町で講師募集の開始	7,850	6,936	圏域住民アンケート調査「生涯学習のための講座や施設が充実している」DI値	% △1.1ポイント	2017年度中間調査で取得	% ±0ポイント以上	○		事業が効果的だったため、既存の内容で継続する
				小計	345,777	290,272					(全体にかかる意見) ○全体的に目標値が消極的なのではないか。 ○備後圏域の取り組みに関する認知度が気になる。「豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域」の実現をめざした取組であるなら、圏域住民への見える化を進め受け手からの意見をフィードバックする経路があってもよいのではないか。	
				合計	1,176,778	1,031,085						